



時々刻々

1 学年通信

第 13 号

山梨県立甲府南高等学校
第 1 学年（文責：石原）
平成 27 年 3 月 1 日発行

☆ 祝卒業！第 50 期卒業生本校を巣立つ

本日 3 年生は卒業式を迎えました。本校での 3 年間、数え切れないほど多くのことを身につけて巣立っていく 275 名の卒業生を、在校生とともに、温かく見送りたいと思います。これからの長い人生の中には、順風満帆なときばかりでなく、幾多の試練と向き合うこともあると思いますが、フロンティアスピリットの気概をもって乗り越えていってほしいと思います。第 50 期卒業生の前途に幸多かれと心よりお祈りいたします。



☆ 第 5 回定期試験終了→「2 年生 0 学期」開始

卒業式関連の諸行事に先立って行われた第 5 回定期試験も終わり、1 年生にとっては 2 年生への進級の準備をする時期となりました。学校ではこの時期を「2 年生 0 学期」と呼び、次年度にスムーズに移行するために重要な時期と位置付けています。この時期をどう過ごすかが来年度を左右するといっても過言ではありません。この「0 学期」には 1 年間で振り返って、自分がまだまだ不十分だと思う学習上の弱点をしっかりと復習することが大切です。3 月は卒業式や高校入試がある関係で、通常通りの時間割や日程で授業をすることが難しい上、部活動の大会や行事などもあり、新年度への準備といっても落ち着いて学習するためには工夫が必要です。

(1) 「0 学期」の学習における 2 つのポイント

- ① 隅から隅までではなく、優先順位を考えて学習に取り組むことも必要です。例えば最も苦手なことだけに復習のポイントを絞ってもよいでしょう。
- ② 学習の時間としてスキマ時間を上手に活用することが大切です。忙しくて勉強時間が取れないと嘆くばかりでなく、「時間を生み出す」工夫をしてほしいと思います。

(2) 定期試験・模擬試験結果の活用

- ① 第 5 回定期試験の各科目の答案が続々と返却されています。学問に王道はなしとは言いますが、試験には相応の準備をして臨むわけですので、結果をよく見直し、課題を明確にすることができれば、それが最も効率のよい学習法であることに間違いはありません。
- ② 1 月進研模試（全員受験）の成績結果が 2 月 20 日（金）にリリースされ、既に多くの生徒がインターネットで各自の試験結果を確認済みであると思います。各教科の分野別の成績や詳しい分析結果は 3 月 4 日までに各 HR 担任を通じて返却されます。

(3) 春季特別課外の活用

今年度も、国語および英語の春季課外が計画されていますが、特に 1 年生は受講者が多く
古典：受講者 199 名、英語：受講者 174 名の生徒が受講しています。1 日あたりの講義時間が非常に長い集中講義の形式で行われますが、講義のみで完結させず、これをきっかけにして、継続学習につなげてほしいと思います。

以上のことを念頭に置いて、「0 学期」を有効に過ごせるように、ご家庭でもご指導ください。

☆ 科学する心を養うスーパーサイエンス I …SSH中間報告会

2月12日(木)に、SSH中間報告会が行われました。1年生は、5・6校時の時間帯で各クラス毎に、学校設定科目スーパーサイエンス I の発表を行いました。今年度は、ロボット講座、JAXA連携講座、生物講座、電子顕微鏡講座、プログラミング講座、先端技術講座、身近な街づくり講座、太陽光ソーラーパネル講座、山梨大学工学部講座の9講座が開講され、7月以降、1年生は各自が選択した講座を受講してきました。今回の発表会では、講座内容や身につけた知識について各グループが工夫を凝らしてプレゼンテーションを行いました。この発表に向けて生徒は放課後の限られた時間を使ってスライド資料の作成、準備をしてきました。当日は、外部からのお客様や保護者の前で、緊張しながらも、精一杯の発表をすることができました。今回の活動を通して、自分の考えをしっかりとめ、そしてそれを周囲の人へうまく伝えることの難しさにあらためて気づいたことと思います。科学的な知識・理解を深めるだけでなく、これらの経験は高校卒業後も役立つ貴重なものであると考えています。当日は多くの保護者の皆様をはじめ、科学技術振興機構、山梨県教育委員会、県内各校の教員が来校し、大盛況でした。



スーパーサイエンス I 発表会の風景

この発表に向けて生徒は放課後の限られた時間を使ってスライド資料の作成、準備をしてきました。当日は、外部からのお客様や保護者の前で、緊張しながらも、精一杯の発表をすることができました。今回の活動を通して、自分の考えをしっかりとめ、そしてそれを周囲の人へうまく伝えることの難しさにあらためて気づいたことと思います。科学的な知識・理解を深めるだけでなく、これらの経験は高校卒業後も役立つ貴重なものであると考えています。当日は多くの保護者の皆様をはじめ、科学技術振興機構、山梨県教育委員会、県内各校の教員が来校し、大盛況でした。

☆ 学年末の主な行事予定（1学年関係）

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
3	1	日	第50回卒業証書授与式	3	12	木	12:40～SHR(午前登校禁止)
	2	月	3/1代休		14	土	春季特別課外 教科書購入
	3	火	生徒協議会		15	日	春季特別課外 教科書購入
	4	水	1～3校時金曜日授業 入試会場準備		18	水	金曜日の授業
	5	木	家庭学習日		20	金	家庭学習日
	6	金	家庭学習日		23	月	交通安全教育指導
	7	土	春季特別課外		24	火	進路講演会 合格体験談 生徒総会
	8	日	春季特別課外		25	水	終業式 離任式 大掃除 生徒集会
	9	月	スクールカウンセラー相談日 個人写真撮影		29	日	南高音楽祭

1年間の最大行事である卒業式を終えると、学校内は一息つく間もなく、新しい年度への準備のため慌ただしさを増してきます。この3月から新学期のスタートまでは、1年生にとっては、高校生活のスタートを間近に控えて緊張していた昨年と違い、気持ちの面で多少なりともゆとりをもって生活できる期間であると思います。ここで気を抜くことなく、2年生への準備をしてほしいと思います。このところの生徒達の様子を見ていますと、彼らなりに考え、一日一日を大切に生活してくれていると感じています。この一年間は様々な経験をしましたが、今後の学校生活にしっかり活かし、そして将来人の役に立つような大人になれるよう努力を続けてほしいと思います。保護者の皆様におかれましては、ご家庭での生徒の様子に引き続きご注意いただき、気になる点などありましたら、遠慮なく担任までご相談いただきたいと思います。

※ 次回の学年通信（「時々刻々」第14号）は、3月25日（水）に発行する予定です。